

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	会社員(ビジネス職)
	モルフェウス					
オプション			年齢	34	性別	男
覚醒	渴望	衝動	解放	初期侵食率	35	%
出自	母親の不在	経験	死と再生	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	1	0			3	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフェニティウエポン	白兵	3r+1	3	LV+7		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
情報収集チーム		ロイス			
コネ: 要人への貸し		対象	感情(pos)	感情(neg)	タマス
		対抗種	P	N	消費
		ドールマスター	P 執着	N 憤懣	
		ゆめむー	P 幸福感	N 猜疑心	
		支部長	P 信頼	N 脅威	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	6	残り財産P:	3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ(ハヌ)	2	2	Xジャー	—	—	—	—	
効果: C値を-LVする(下限7)								
一閃	1	2	Xジャー	武器	—	対決	白兵	
効果: 全力移動後白兵攻撃/離脱不可								
【起】吠え猛る爪	5	2	Xジャー	武器	—	対決	白兵	
効果: 組み合わせた攻撃も装甲無視								
超振動閃	3	4	Xジャー	—	単体	対決	シド	
効果: 組: 吠猛爪/R間攻撃ダメ+LV*3]								
援護の風	4	2	オート	視界	単体	自動	—	
効果: 判定Dを+LV個/1R1回								
インフェニティウエポン	1	3	マイナー	至近	自身	自動	—	
効果: 武器作成: 攻+[LV+7]/G値3/至近								
獅子奮迅	1	4	Xジャー	武器	範(選)	対決	白兵	
効果: 組: 攻撃対象を範(選)に/ナリOLV回								
蝙蝠の耳	1	—	Xジャー	至近	自身	自動	—	
効果: あの時間こえたのは彼女の—								
真偽感知	1	2	Xジャー	視界	単体	自動	—	
効果: 今までの経験ゆえか、I/Fアウトゆえか								
超人的代謝	1	—	常時	至近	自身	自動	—	
効果: 飲み会では最後までこのまま								
無上厨師	1	—	Xジャー	至近	—	自動	—	
効果: 自給自足(文字通り)								

■外見
 ・きちんとした服装と少しの乱れも無い髪、整えられた身だしなみの、いかにも「エリートサラリーマン」と言った風貌。
 ・オーヴァード活動の時もスーツと革靴で(※だいたい仕事で帰る)、オーヴァードに見られないこともたまある。
 ・特に霧谷と話をしているときはどこぞの企業の商談でも行われているかのような光景になる。
 ・あまり目が良くないので眼鏡を欠かさない。それがまた真面目さを強調している。

■戦闘スタイル
 メインアタッカーほどの火力は無いが、《援護の風》でフォローしたり《超振動閃》で追加ダメージを与える等、「輔」の名の通り支援を行いつつ戦う。情報収集戦も今まで社会人として培ってきた経験をフル活用している(オーヴァード能力関係ない)。
 《インフェニティウエポン》で武器を作り出すが、今までゲームやアニメどころか映画もほとんど観ない輔は武器の「イメージ」に乏しく、いつも名刺(社会人の武器と言えばこれ!)っぽいものを出してしまう。

■経歴
 幼い頃より真面目で成績もよく、順当に一流大学へ進学し大手一流企業に勤めるサラリーマンとなった。物心ついた時にはすでに母親の姿はなく、夜遅くまで仕事をするエリートサラリーマンの父親の背中を見て育った。そのせいか、自身も仕事に身を費やすことにさほど疑問を持っておらず、優秀なサラリーマンとして生きてきた。
 趣味らしい趣味もなく、唯一興味を持っているのは半地下アイドル「夢見徒(ゆめみがり)☆むりめ」こと通称「ゆめむー」くらい。学生時代からの友人に勧められたことがきっかけで「ゆめむー」に興味を持ち、彼女の歌を聴くのが休日(※あれば)の楽しみ方だった。
 しかしタスクの勤める会社は一流企業にしてブラックな側面があり、次々と社員が辞め、繁忙期にはありえないくらいの忙しさとなった。毎日8時間の残業、月の残業時間は200時間をゆうに超え、勤務日数は40日(?)の日々。人員がいらない中必死に仕事をするも、その真面目な性格がアガとなり過労死しかける。薄れゆく意識の中、輔は思う。子供のころからずっと勉強ばかり、社会人になってからは仕事ばかりで、ゆめむーのライブに一度も行ったことが無かった。いつも元気をくれていた彼女をもっと応援したかった。そう、ライブに行って、直に。